

東京湾海況情報 23-10

東京湾水質調査結果（平成24年1月）

（平成24年1月19日発行）

千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 〒293-0042 富津市小久保3091
 TEL 0439-65-3071
 E-mail futtsu-gk@mz.pref.chiba.lg.jp
 千葉県農林水産技術会議

資料 水質調査 1/10：内湾(わかふさ)、内房海域(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(1/4-10)、東京湾口海況図(1/4-10)
 モニタリングポスト(1/10：国土交通省関東地方整備局)
 千葉県環境研究センター(1/5)

【 水温・塩分の状況 】

内湾の表層水温(図1)はほぼ全域で10~11℃台で、平年並み~やや低めになっています。塩分は全域で平年より約1~2高くなっています。

一方、12月中旬頃に内房北部までみられた沖合水は下旬頃から小康状態となり、内房北部の表層水温はほぼ11~13℃台になっています。

しかし、東京湾口への沖合水の流入は依然継続しており、水温14℃以上・塩分34以上の水塊が、久里浜沖に達しています(図3)。

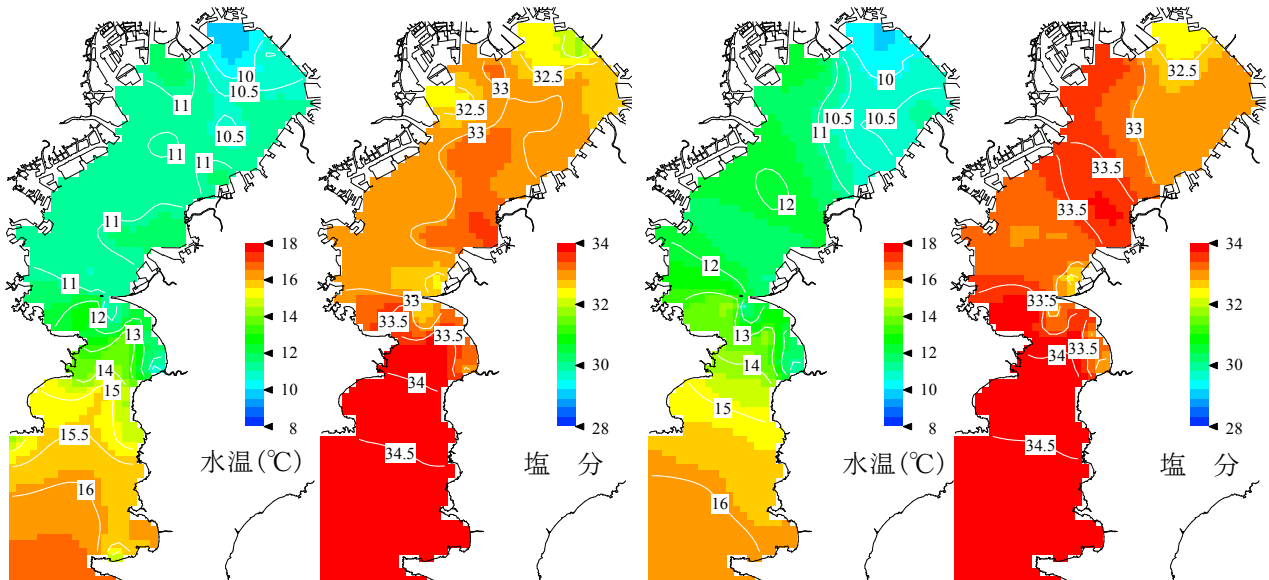


図1 水温・塩分分布（表層）

図2 水温・塩分分布（底層）

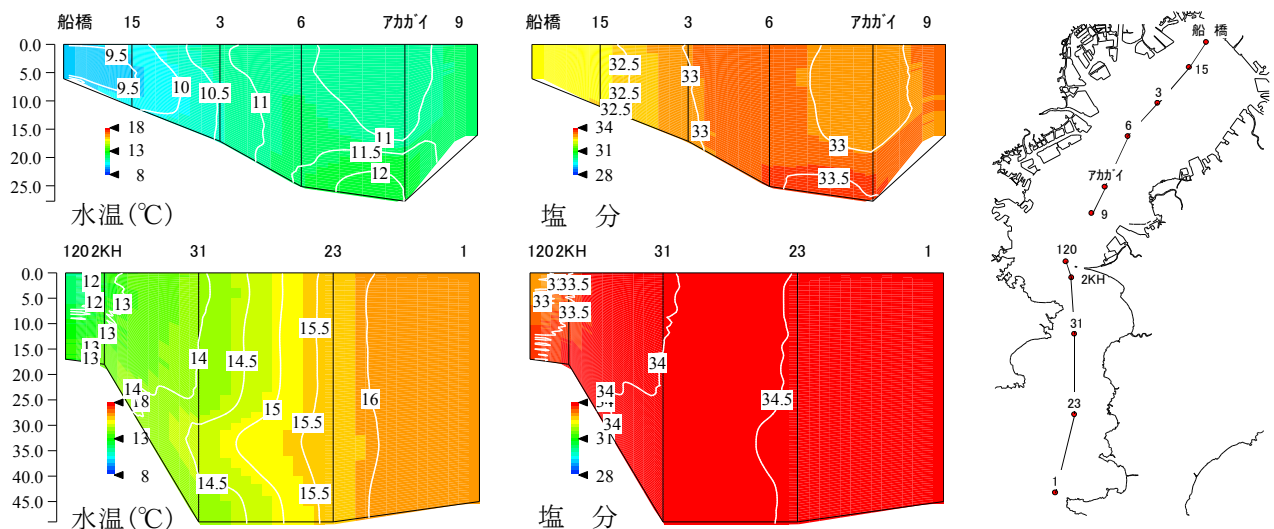


図3 縦断面の水温・塩分の鉛直分布(上：内湾、下：内房海域、右：調査ライン)

【 赤潮の状況 】

赤潮はアクアライン以北の東側で発生し、船橋から千葉灯標付近にかけての沿岸ではpHは8.5~8.6に上昇、透明度は2m前後まで低下し、水色も褐色を呈するほどのやや濃い赤潮状態です。

優占種はケイ藻のスケルトネマ(*Skeletonema* sp.)で、場所によってキートケロス(*Cheateoceros danicum*)もやや多くみられています。

また、ユーカンピア(*Eucampia zodiacus*)やリゾソレニア(*Rhizosolenia setigera*)もみられ始めています。

※ 千葉県の赤潮の目安は次のとおりです。
 色 : オリーブ~褐色
 酸素飽和度 : 150%以上
 透明度 : 1.5m以下
 pH : 8.5以上
 クロロフィルa : 50 μ g/L以上

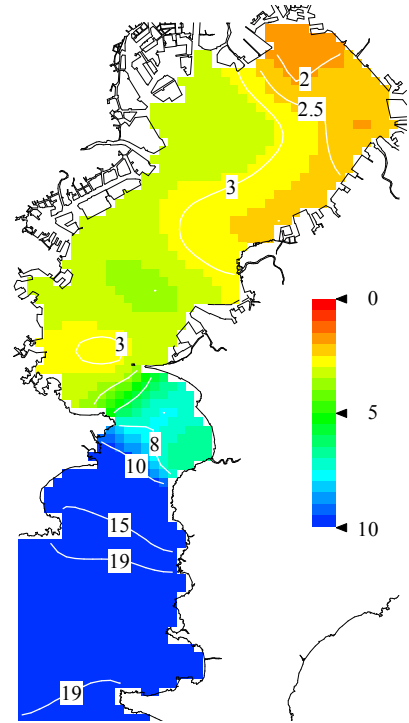


図4 透明度の分布 (m)

【 貧酸素水塊の状況 】

内湾底層部の溶存酸素量(図5, 6)は最も低いところで5ml/L以上あり、貧酸素水塊は発生していません。

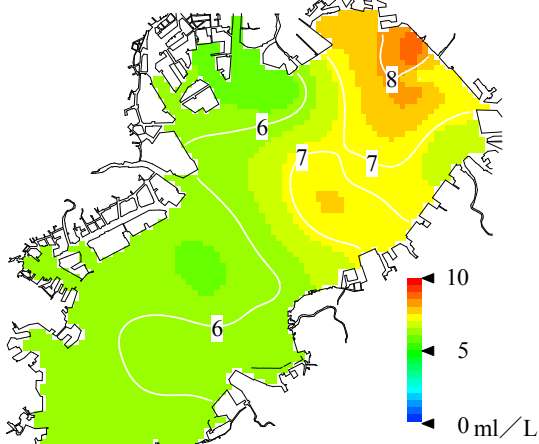


図5 底層部の溶存酸素量の分布(内湾)

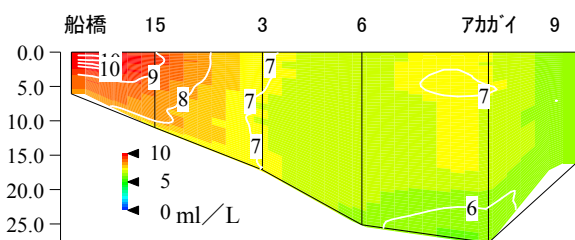


図6 縦断面の溶存酸素量の分布(内湾)

※ 千葉県水産総合センターでは、溶存酸素量2.5ml/L(酸素飽和度50%)以下を貧酸素水塊としています。

【 栄養塩の状況 】

湾内の表層栄養塩濃度(図7)は溶存無機態窒素(DIN)・リン酸態リン(PO₄-P)とも内湾~内房北部海域で平年より少なく、内湾ではリン酸態リンがかなり少なくなっています。

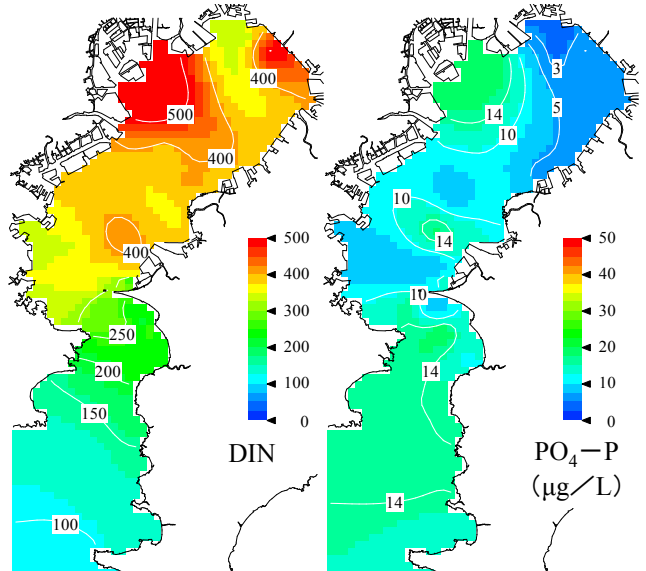


図7 栄養塩濃度の分布(表層)

【黒潮の状況】

黒潮は依然変動しており、その流軸は、10日現在遠州灘沖でやや蛇行したのち三宅島付近を通り、房総半島南東岸を北東方向に流れています(図8)。これに伴い、東京湾口に沖合水が流入しています。

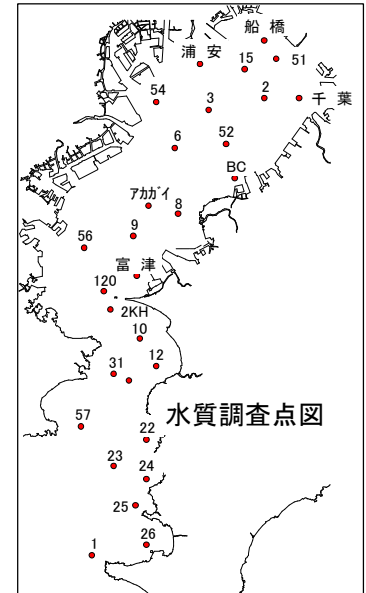
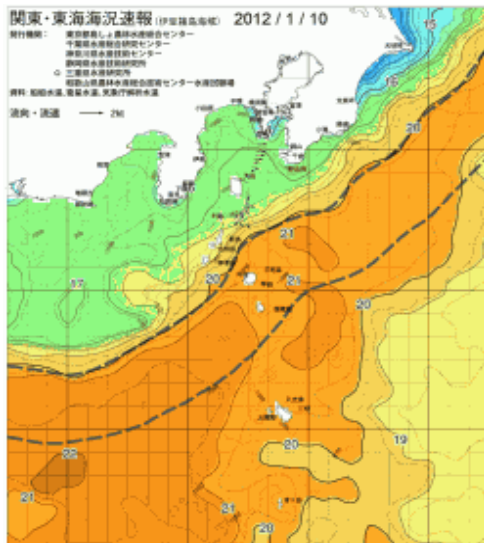


図8 黒潮の動き (平成24年 1月10日)

表1 主な調査点の水質調査結果 (表層, 溶存酸素量のみ底層)
(): 最近10年間の平均値 (2001~2010年)

調査点	水温 (°C)	塩分	透明度 (m)	pH	溶存酸素量 (ml/L)	アンモニア態窒素 (µg/L)	溶存無機態窒素 (µg/L)	リン酸態リン (µg/L)	クロロフィルa (µg/L)
内湾	船橋	9.4 (10.2)	32.13 (30.41)	1.8 (3.0)	8.6 (8.3)	8.1 (6.0)	11 (74)	342 (594)	2 (29)
	st.15	9.7 (11.0)	32.31 (30.79)	2.0 (4.4)	8.5 (8.3)	7.4 (5.3)	8 (69)	335 (555)	3 (26)
	st.3	10.9 (11.0)	33.03 (30.57)	3.5 (4.2)	8.3 (8.3)	7.0 (5.2)	24 (89)	457 (621)	12 (27)
	st.6	11.1 (11.2)	33.24 (30.34)	3.2 (5.3)	8.3 (8.3)	6.2 (5.0)	16 (52)	403 (496)	11 (23)
	st.9	11.2 (11.7)	33.11 (31.50)	4.0 (6.1)	8.2 (8.3)	6.2 (5.5)	49 (47)	415 (455)	17 (24)
	st.BC (盤洲Cブイ)	11.5 (12.1)	33.01 (31.17)	2.5 (4.5)	8.4 (8.2)	6.8 (5.2)	11 (50)	388 (484)	4 (25)
	st.8 (盤洲A南)	11.2 (11.6)	33.41 (31.37)	3.0 (5.1)	8.3 (8.3)	6.0 (5.0)	15 (43)	362 (444)	9 (23)
	富津	10.8 (12.0)	32.63 (31.63)	3.4 (5.4)	8.3 (8.3)	5.9 (5.5)	11 (42)	371 (414)	6 (23)
内房海域	st.2KH (第2海ほ下)	12.4 (12.7)	33.46 (33.03)	4.0 (7.5)	8.3 (8.3)		13 (26)	274 (294)	13 (20)
	st.31	13.9 (14.2)	33.92 (33.50)	10.0 (11.1)	8.2 (8.3)		8 (13)	201 (209)	15 (16)
	st.23	15.8 (16.1)	34.53 (34.34)	20.0 (18.9)	8.2 (8.3)		11 (7)	127 (102)	16 (14)
	st.1	16.3 (16.4)	34.54 (34.44)	19.0 (19.5)	8.2 (8.2)		7 (10)	99 (96)	13 (13)
	st.10 (下洲沖)	13.6 (13.8)	33.81 (33.61)	8.0 (9.8)	8.3 (8.2)		20 (16)	233 (218)	18 (19)
	st.12 (湊沖)	12.3 (13.2)	33.61 (33.51)	7.0 (7.6)	8.2 (8.2)		6 (15)	221 (196)	11 (17)
	st.22 (保田沖)	14.5 (15.8)	34.19 (34.33)	13.0 (16.3)	8.2 (8.3)		11 (10)	167 (116)	13 (15)
	st.24 (富山沖)	15.7 (16.3)	34.55 (34.39)	21.0 (18.7)	8.2 (8.2)		18 (8)	136 (98)	14 (13)
	st.26 (館山湾内)	15.9 (16.1)	34.57 (34.37)	21.0 (18.7)	8.2 (8.2)		6 (9)	115 (97)	13 (13)

注) 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示しています。